

私立大学図書館協会東地区部会 2013 年度第 2 回役員会
議事要録

日 時 : 2014 年 1 月 24 日 (金) 15 : 00 ~ 17 : 15

場 所 : 明治大学 グローバルフロント 17 階 C6 会議室

出席校 : 会長校 立命館大学 (平野、高橋)

部会長校 明治大学 (金子、菊池、折戸、山崎)

研究部担当理事校 専修大学 (平野、齋藤)

分科会更新担当理事校 東京都市大学 (坂元)

分科会月例担当理事校 清泉女子大学 (阿部)

東北・北海道地区担当 東北福祉大学 (本間、中塚)

監事校 立教大学 (豊田、大串、市村)

※敬称略

配付資料 :

- ・私立大学図書館協会東地区部会 2013 年度第 2 回役員会 (以下「役員会資料」と記載)
- ・私立大学図書館協会 2013 年度第 2 回常任幹事会 (以下「常任幹事会資料」と記載) : 資料 1
- ・私立大学図書館協会東地区歴代役員校一覧 : 資料 2

議事に先立ち、部会長校明治大学より挨拶があった。

議事進行は、部会長校明治大学図書館長が担当した。

議 事 :

[報告事項]

1. 東地区部会関係

2013 年度東地区部会会務報告

部会長校明治大学より、役員会資料 (PP. 4-7) に基づき報告があった。東地区部会研究講演会 (P. 7) について、今まで記載があった「(研究部と共催)」の文言を削除したことが報告された。

2013 年度東地区部会研究部活動報告

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料 (PP. 8-10) に基づき報告があった。

2. 2013 年度第 2 回常任幹事会報告

会長校立命館大学より、2013 年 12 月 6 日 (金) に開催された常任幹事会について、常任幹事会資料 (資料 1) に基づき報告があった。また、4. 委員会報告 (P. 14) について以下の補足説明があった。

- ・協会賞の推薦について、第 2 回常任幹事会の時点では推薦件数 0 だったが、第 2 回東地区

部会役員会（以下、役員会）の前日に2件の推薦が提出された。また、前述に加え、内々に2件連絡が来ており、合計4件が2月21日（金）に開催される協会賞審査委員会で審議される予定である。

・研究助成の応募状況について、当初の締切であった11月28日時点では応募件数1件だったが、その後再募集を行い、全部で5件の応募があった。役員会と同日に審査が行われている。

[協議事項]

1. 2013年度東地区部会中間決算報告

部会長校明治大学より役員会資料（P.12）に基づき中間決算報告がされた。特記事項として以下の説明があった。

- ・部会総会費の講師謝礼について、講師1名が辞退したため、1名分のみ支払った。
- ・印刷費について、部会総会の開催通知の印刷を、コピーカード（運営事務費）ではなく1枚5円の業者をお願いしたため、赤字執行となった。
- ・通信費について、年度内に東北・北海道地区担当理事校の廃止に関するアンケートを送付する予定のため、決算額が増える見込みである。
- ・運営事務費について、東北地区大学図書館協議会へのヒアリングのための出張旅費として執行した。

2. 2013年度東地区部会研究部中間決算報告

研究部担当理事校専修大学より役員会資料（P.13）に基づき中間決算報告がされた。特別助成金について、分科会からの申請があったため、赤字執行となるとの報告があった。

3. 2014年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）

部会長校明治大学より、役員会資料（PP.14-15）に基づき報告があった。引き続き、東北北海道地区担当理事校問題の解決および地域参加館との連携を強化していきたいと補足があった。

協議事項1～3について、異議なく承認された。

4. 2014年度研究部活動計画（案）及び予算（案）

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（PP.16-17）に基づき以下の説明があった。

- ・活動計画（案）について、研究分科会は今年度6分科会が活動していたが、次年度は休会中の2分科会も含めて募集を行っている。
- ・予算（案）について、分科会の繰越金を戻入する分、収入の部の前年度繰越金が大幅に増額予定である。また、分科会への助成金額（分科会助成金、特別助成金）を大幅に増額する予定である。（このことについては、協議事項7で説明）

5. 次期運営委員と研修委員について

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（P. 18）に基づき報告があり、異議なく承認された。

6. 東北・北海道地区担当理事校の廃止に関するアンケートについて

部会長校明治大学より、役員会資料（PP. 19-26）に基づき、アンケートの内容について説明があった。

このことについて以下のような意見が挙げられた。

- ・代替案を記入する欄を設けてはどうか。
- ・どのようなスケジュールで手続きを進めていくのか記載した方が良いのではないか。
- ・事務長会や研修会の企画は負担になりかねないので、地区ブロック理事校の役割を会場提供に限定してはどうか。

以上の意見をふまえてアンケートを修正した上で、近日中に東地区部会全加盟校へ送付することとし、了承された。

7. 研究部の会計について

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（PP. 27-36）に基づき、研究分科会会計処理および助成金の改訂について以下の説明があった。

- ・研究分科会の繰越金を、2年に一度、更新の年に回収する。
- ・繰越金を回収する代わりに、分科会への助成金を増額する。
- ・上記2点が、研究部運営委員会および運営委員・研究分科会代表者合同会議にて了承された。

これらについて、以下の提案があった。

- ・分科会に対する予算としては、その対象校数（269校中約30校）から考えて大きすぎるのではないか。
- ・増額案を見直し、その分特別助成金を自由に使える体制作りをしてはどうか。
- ・より多くの加盟校から参加が出来る研修会の参加費を、現行の3,000円から無料にしてはどうか。
- ・研究分科会の内容の見直しや、気軽に参加できる研修会を増やすことを検討してはどうか。

これらの提案のうち2014年度予算案に関わる部分について、2014年3月に開催される研究部運営委員会、および臨時に開催する予定の運営委員・研究分科会代表者合同会議にて審議すること、また、修正した予算案を2014年度第1回東地区部会役員会にて諮ることとし、了承された。

[懇談事項]

1. 2014年度部会総会、館長会及び研究講演会の開催（案）について

部会長校明治大学より、役員会資料（P. 38）に基づき報告があった。このことについて、研究部担当理事校専修大学より、以下の2名から研究講演会の講師として内諾を得ている旨報告があった。

- ①専修大学文学部教授 植村 八潮氏
- ②大学図書館支援機構副理事長 高野 真理子氏

2. 分館情報の管理について

部会長校明治大学より、加盟校の分館情報管理の現状について、役員会資料（PP. 4-5）をもとに説明があった。東地区部会としての分館情報管理の必要性について今後の役員会で協議の上、管理廃止の方向で話を進めていきたいとの話があった。

3. 東地区部会役員校、総会当番校、部会総会会場校の選出について

部会長校明治大学より、配付資料（資料2）に基づき、現在、鋭意打診中である旨報告があった。

以 上